

産業廃棄物処理計画書

2025年6月24日

大阪府知事 殿

提出者

住 所 茨木市上穂積1-3-52

氏 名 株式会社 澤田商店

代表取締役 小林 将之

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

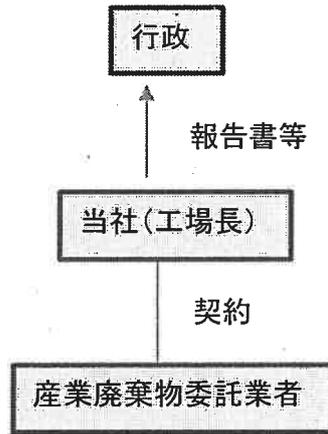
電話番号 072-622-5223

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 澤田商店
事業場の所在地	茨木市上穂積1-3-52
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	生コンクリート製造業
②事業の規模	年間出荷量：23,200m ³ （令和6年度）
③従業員数	8名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	生コンクリート製造・出荷→打設→戻りコン発生→固化→破碎→コンクリートガラ、固化汚泥として処分 ミキサー車洗浄水→分類→上澄水再利用→スラッジ、残骸は汚泥として処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2024年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	排出量	1670 t	1710 t
	(これまでに実施した取組) ①中間処理業者へ処理委託 ②現場での戻りコン抑制の為の打ち合わせを行う		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	排出量	1300 t	1400 t
	(今後実施する予定の取組) ①中間処理業者へ処理委託 ②現場との戻りコン抑制の為の打ち合わせを継続 ③m ³ ブロックの作製		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 所定の保管場所
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	200 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ m ³ ブロックの作製 ・ 再生砕石への変換		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	全処理委託量	1670 t	1710 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	全処理委託量	1300 t	1200 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			